

要 望 書

平成19年1月17日

北総線運賃問題対策協議会

成田新高速鉄道の運賃に関する要望書

貴社におかれましては、常日頃より沿線住民の利便性の向上にご尽力をいただいていることに対しまして、心より感謝申し上げます。

さて、都心と成田空港を30分台で結ぶ成田新高速鉄道については、平成22年の開通を目指して、平成18年2月に起工式が行われ、現在、用地買収や橋梁の整備等が進められております。

この成田新高速鉄道の開通は、千葉ニュータウン地域にとっても成田空港と直接結ばれることにより、利便性が向上し、地域のポテンシャルが高まることが予測され、千葉ニュータウン地域を抱える当市村にとりましても、財政支援を行うなど早期完成を強く望んでいるところです。

しかしながら、一方では、成田新高速鉄道線と同路線で運行される北総線の高運賃問題が大きな行政課題となっており、成田新高速鉄道線の開業に当たって運賃がどのように設定され、北総線運賃との関係がどのようになるのかについて、行政はもとより沿線住民の関心も高まっております。

このことについては、貴社の運賃体系を見た場合、成田新高速鉄道線で成田空港駅から上野駅に行く運賃は、ルートは違っても京成運賃と同一運賃になるものと推察します。しかし、北総線で上野駅まで行く場合は、成田新高速鉄道線で行くよりも運賃が高くなるというような、二重運賃にな

るのではないかと危惧しているからです。

このような二重運賃になった場合は、北総線の運賃問題を抱えている
当市村にとりましては、今後のまちづくりに影響を及ぼすばかりではなく、
成田新高速鉄道線の運賃問題といった新たな行政課題が発生するものと
思われます。

つきましては、沿線自治体の厳しい状況をお汲み取りいただき、貴社が
成田新高速鉄道の運賃を設定するにあたっては、沿線住民の利便性向
上のため、次の事項についてご検討されたくここに要望いたします。

1. 成田新高速鉄道線と北総線が二重運賃にならないよう千葉ニュータ
ウン沿線住民に配慮した運賃体系としていただきたい。また、併せて
北総線の運賃が値下げされるよう配慮していただきたい。

平成19年1月17日

京成電鉄株式会社

代表取締役社長 花 田 力 様

北総線運賃問題対策協議会

会長 印西市長 山崎 山洋

北総線運賃問題対策協議会

団体名	職名	氏名	備考
印西市	市長 議長	山崎 山洋 川村 一幸	会長
白井市	市長 議長	中村 教彰 江田 健治	副会長
印旛村	村長 議長	佐藤 榮一 小川 勇	監事
本埜村	村長 議長	小川 利彦 大塚 輝男	監事